

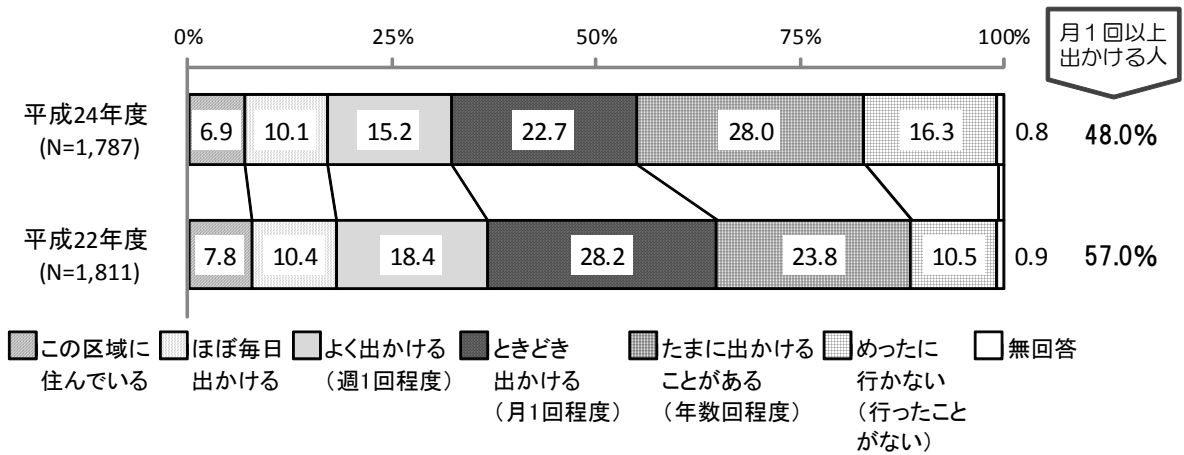
第4章 中心市街地活性化

4-1 中心市街地への来訪について

(1) 中心市街地への来街頻度

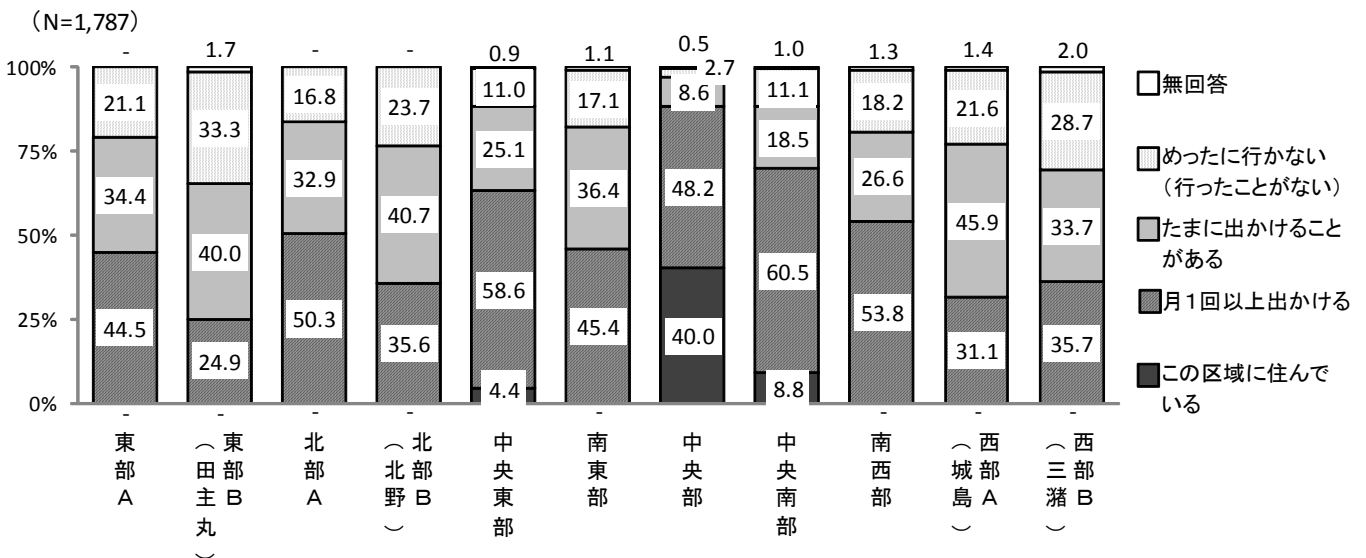
中心市街地へ『月1回以上』出かける人は約5割で平成22年度より減少。
 東部B、北部B、西部A・Bに居住する人で月1回以上出かける人は2割台から3割台。

問 11 あなたは、どれくらいの頻度で「中心市街地」に来ることがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印) ※現在「中心市街地」の範囲に住んでいる方は1に○をつけてください。

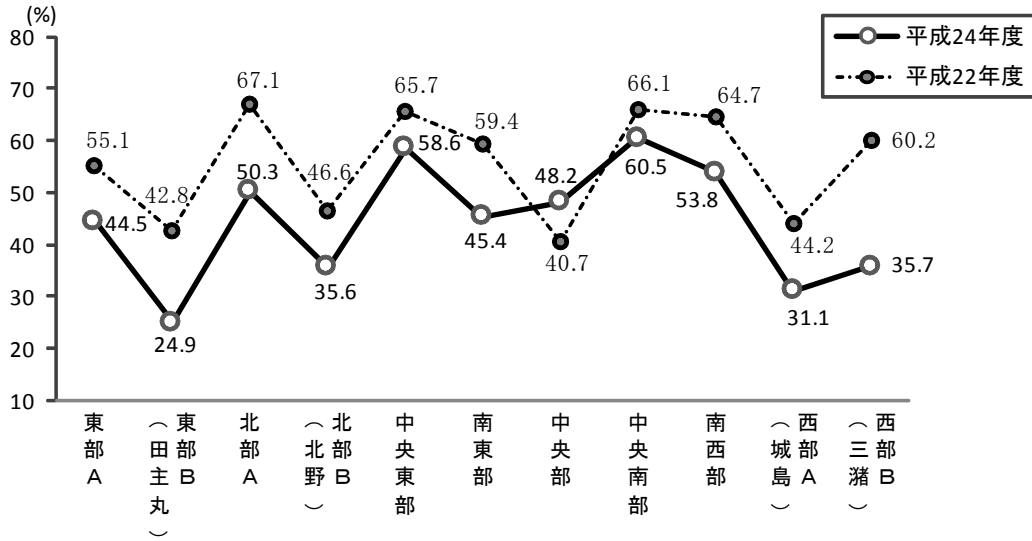


■ 図4-1 ブロック別にみた来街頻度

◇ 東部B、北部B、西部A、西部Bは月1回以上の来街頻度が2割台から3割台にとどまってお、東部Bと西部Bでは「めったに行かない」が3割前後に上る。



■図4-2 ブロック別にみた『月1回以上』中心市街地へ出かける人の割合(平成22年度との比較)



◆属性別特徴

【性別】女性は男性より「週1回程度出かける」がやや高く、男性は「めったに行かない」が女性より高い。

【年齢別】

- ・年齢が低い層ほど出かける頻度が高い傾向がみられ、20歳代では月1回以上出かける人が約3分の2に上っている。
- ・70歳以上では「年数回程度出かける」「めったに行かない」の合計が5割を超える。

【エリア別】中心市街地以外のエリアでは「年数回程度出かける」人が3割強と多く、「めったに行かない」を合わせると5割を超えている。

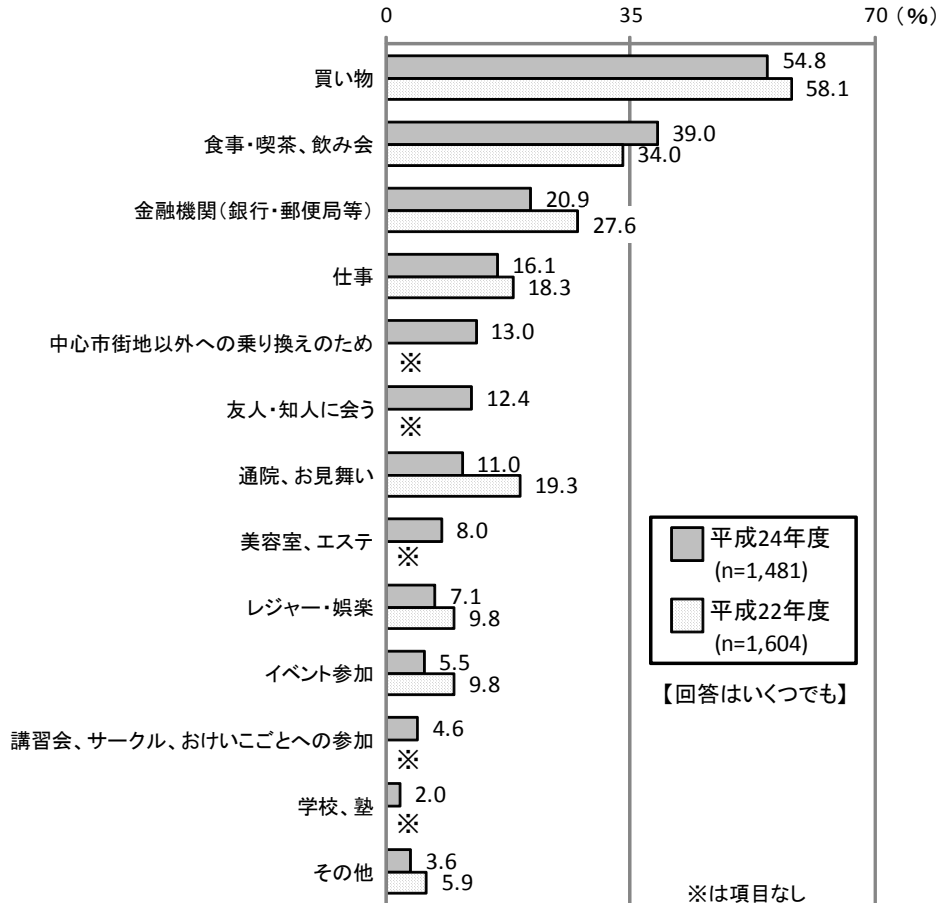
	標本数(票)	中心市街地への来街頻度 (%)							『月1回以上』
		この区域に住んで	ほぼ毎日出かける	(よく)週1回程度出る	(ときどき)月1回程度出る	(たまに)年数回程度出る	(めったに行かない)行かない	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	6.9 (124)	10.1 (180)	15.2 (271)	22.7 (405)	28.0 (501)	16.3 (291)	0.8 (15)	48.0 (856)
性別									
男性	821	6.7	10.1	12.3	22.2	28.9	19.0	0.9	44.6
女性	966	7.1	10.0	17.6	23.1	27.3	14.0	0.8	50.7
年齢別									
20歳代	195	6.7	13.3	26.7	24.6	17.9	10.8	-	64.6
30歳代	313	6.4	12.8	14.7	27.2	27.2	11.5	0.3	54.7
40歳代	288	6.6	12.5	12.2	22.2	29.9	16.3	0.3	46.9
50歳代	364	6.3	11.0	13.7	21.2	28.8	18.7	0.3	45.9
60歳代	393	7.9	6.6	14.5	22.1	30.3	17.3	1.3	43.2
70歳以上	234	7.7	5.1	13.2	18.8	30.3	21.8	3.0	37.1
エリア別									
中心市街地エリア	366	33.1	18.6	17.2	16.7	10.1	3.8	0.5	52.5
それ以外	1,393	0.2	7.9	14.9	24.0	32.9	19.2	0.9	46.8

注) 中心市街地エリアの校区は、西国分、荘島、日吉、篠山、京町、南薫、金丸。

(2) 中心市街地へ来る主な目的

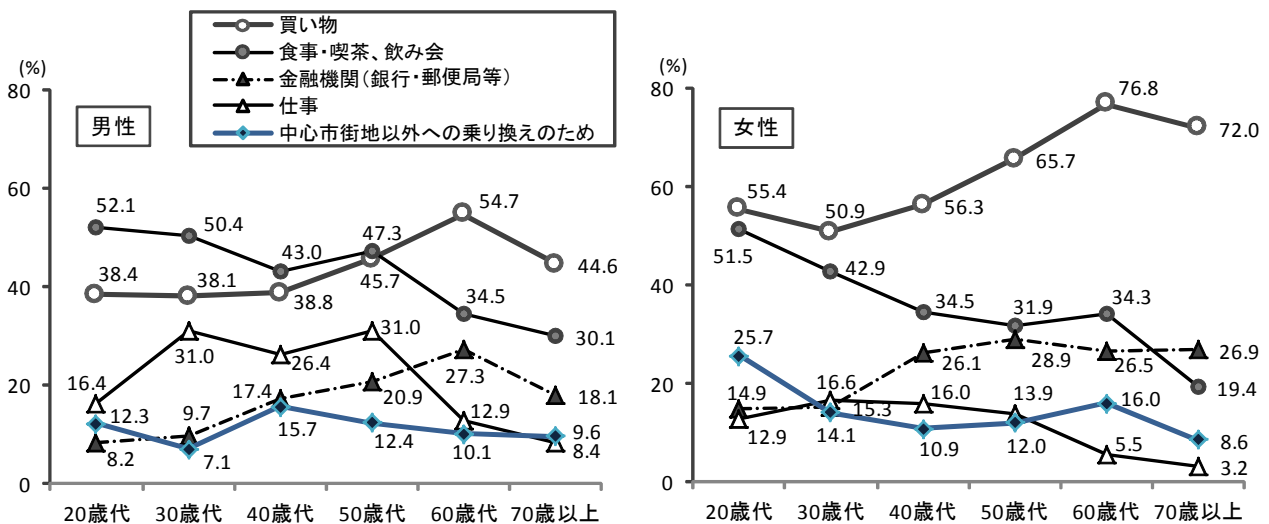
中心市街地を訪れる主な目的は「買い物」が54.8%、「食事・喫茶・飲み会」が39.0%。
平成22年度より「金融機関」「通院、お見舞い」が減少。

問 11 付問 1 問 11 で 1～5 に回答した人に 「中心市街地」へ来る主な目的は何ですか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)
※問 11 で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、中心市街地で主に行っていることを選んでください。



注) 「イベント参加」は、平成22年度調査では「イベント・講習会などへの参加」。

■ 図4-3 性別・年齢別にみた中心市街地へ来る主な目的(上位5項目)





◆属性別特徴

【性別】女性は男性に比べ「買い物」「美容院・エステ」などが高く、特に「買い物」は 63.3%と高い。男性は「仕事」「食事・喫茶・飲み会」が女性より高い。

【年齢別】

- ・「買い物」は年齢が高い層で高く、60歳代では7割弱が回答している。
- ・「食事・喫茶・飲み会」は20歳代、30歳代で高く、また20歳代では「レジャー・娯楽」「友人・知人に会う」「中心市街地以外への乗り換え」も比較的高い。
- ・「仕事」は30歳代、40歳代、50歳代で2割を超えている。
- ・「通院・お見舞い」は70歳以上で2割台と高い。
- ・「金融機関」は20歳代、30歳で1割強と他の年代に比べ低い。

【ブロック別】

- ・「買い物」は中央部、中央南部、西部Aで高く、特に中央部では7割に上る。
- ・「金融機関」は中央部で4割強と高く、中央南部、中央東部でもやや高い。

【来街頻度別】

- ・この区域に住んでいる人では「買い物」が8割、「金融機関」が6割、「食事・喫茶・飲み会」が5割弱などとなっている。
- ・ほぼ毎日出かける人では「仕事」が56.1%と目立って高い。
- ・週1回程度出かける人では「買い物」「金融機関」がやや高い。

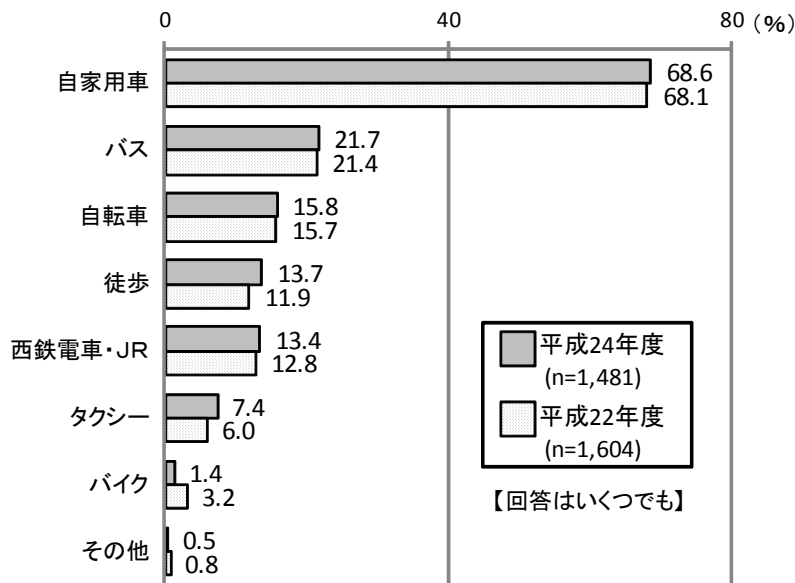
	標本数 (票)	「中心市街地」へ来る主な目的 (%)													
		買 い 物	飲 食 事 ・ 喫 茶	レ ジ ャ ー ・ 娯 楽	仕 事	通 院 、 お 見 舞 い	行 金 ・ 融 機 関 (銀 行 ・ 郵 局 等)	イ ベ ン ト 参 加	と ル 講 習 会 、 サ ー ク ル の お お け い こ ご ク	美 容 室 、 エ ス テ	う 友 人 ・ 知 人 に 会	学 校 、 塾	た め の 乗 り 換 え の 外	中 心 市 街 地 以 外	そ の 他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,481)	54.8 (811)	39.0 (577)	7.1 (105)	16.1 (239)	11.0 (163)	20.9 (310)	5.5 (81)	4.6 (68)	8.0 (119)	12.4 (184)	2.0 (29)	13.0 (193)	3.6 (54)	3.1 (46)
性別															
男性	658	44.1	42.7	9.4	21.9	8.8	17.9	4.7	2.9	2.4	9.7	1.1	11.2	3.6	3.3
女性	823	63.3	36.0	5.2	11.5	12.8	23.3	6.1	6.0	12.5	14.6	2.7	14.5	3.6	2.9
年齢別															
20歳代	174	48.3	51.7	15.5	14.4	5.2	12.1	4.0	1.7	8.0	25.3	2.9	20.1	1.7	2.3
30歳代	276	45.7	46.0	5.8	22.5	5.8	13.0	9.8	2.9	9.8	9.1	3.6	11.2	3.6	2.5
40歳代	240	47.5	38.8	5.4	21.3	6.7	21.7	5.0	3.3	7.9	6.3	4.6	13.3	3.3	1.3
50歳代	295	56.9	38.6	5.8	21.4	10.2	25.4	5.1	3.1	6.8	11.2	0.7	12.2	2.4	3.1
60歳代	320	67.2	34.4	7.2	8.8	16.9	26.9	3.8	6.9	8.8	14.4	0.3	13.4	5.3	2.5
70歳以上	176	59.1	24.4	5.1	5.7	21.6	22.7	4.5	10.2	6.3	11.9	-	9.1	5.1	8.5
ブロック別															
東部A	101	46.5	42.6	5.9	13.9	10.9	8.9	9.9	6.9	4.0	10.9	2.0	20.8	4.0	5.0
東部B(田主丸)	78	43.6	38.5	7.7	12.8	17.9	7.7	5.1	2.6	3.8	15.4	3.8	14.1	-	3.8
北部A	134	44.8	35.8	8.2	14.2	9.0	23.9	5.2	6.7	6.7	11.2	0.7	15.7	1.5	2.2
北部B(北野)	90	54.4	41.1	6.7	11.1	12.2	6.7	2.2	5.6	11.1	18.9	1.1	6.7	3.3	3.3
中央東部	200	50.5	32.0	5.0	18.0	10.0	25.5	3.5	4.5	5.5	12.5	2.0	20.0	5.5	1.5
南東部	153	52.3	36.6	6.5	12.4	13.7	11.1	4.6	3.9	5.9	9.8	2.0	13.1	6.5	0.7
中央部	213	70.9	42.3	6.1	17.4	12.7	42.7	6.6	4.7	12.2	13.6	1.4	10.3	2.8	5.2
中央南部	261	62.5	38.3	8.0	18.8	7.3	28.7	6.1	4.2	11.1	12.6	3.4	11.9	4.2	3.1
南西部	124	48.4	40.3	9.7	22.6	9.7	12.1	5.6	4.0	6.5	11.3	0.8	11.3	2.4	3.2
西部A(城島)	57	61.4	40.4	5.3	12.3	15.8	3.5	7.0	5.3	8.8	5.3	1.8	5.3	3.5	7.0
西部B(三潁)	70	44.3	51.4	10.0	14.3	10.0	8.6	4.3	1.4	7.1	14.3	1.4	5.7	2.9	1.4
来街頻度別															
この区域に住んでいる	124	79.0	48.4	10.5	20.2	17.7	59.7	8.9	9.7	14.5	23.4	3.2	9.7	2.4	4.8
ほぼ毎日出かける	180	40.6	23.3	5.6	56.1	3.3	17.2	4.4	6.7	10.0	8.3	3.9	13.3	5.6	2.8
よく出かける(週1回程度)	271	66.8	43.5	11.1	15.5	12.9	25.8	5.5	7.4	12.5	15.5	3.3	13.7	4.1	1.8
ときどき出かける(月1回程度)	405	52.6	45.9	5.4	9.9	10.6	17.5	2.7	4.2	8.6	13.6	1.0	11.1	2.5	3.5
たまに出かけることがある(年数回程度)	501	49.1	34.1	6.0	6.2	11.4	12.8	7.2	1.4	2.8	8.6	1.0	15.0	4.0	3.2

(3) 中心市街地への交通手段

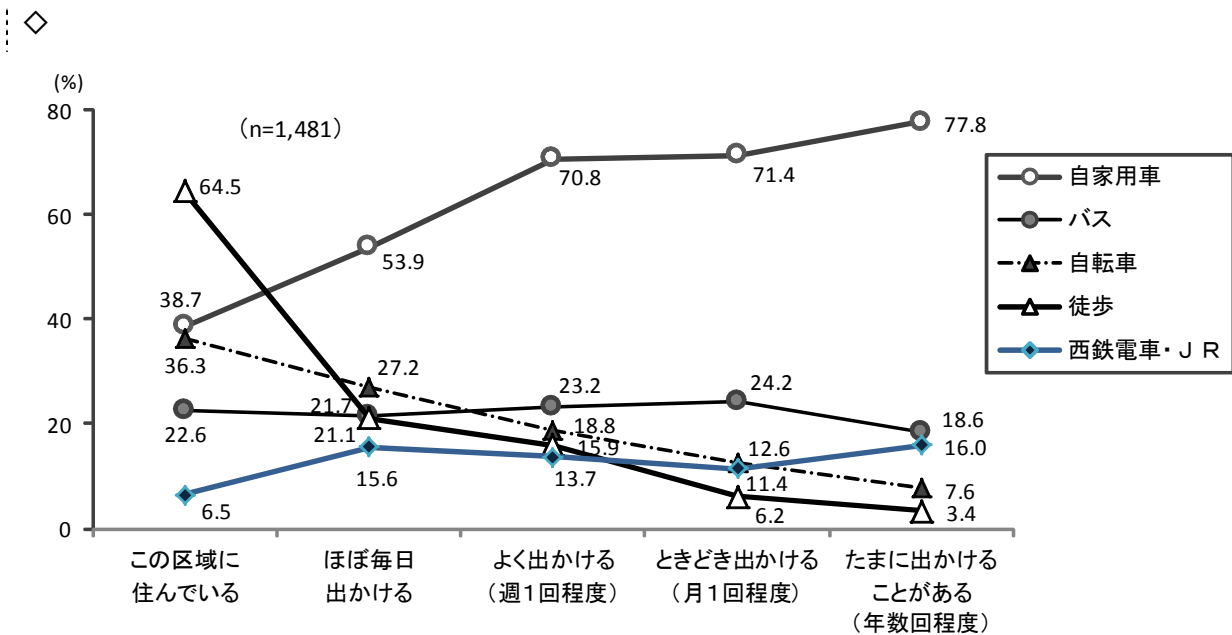
中心市街地に来る際の交通手段は「自家用車」が7割弱。
 20歳代や60歳以上の女性でバス・電車等の公共交通機関の利用が多い。
 この区域に住んでいる人やほぼ毎日出かける人は「自転車」の利用が3割前後。

問11付問2 問11で1～5に回答した人に あなたが「中心市街地」へ来る際の交通手段は主に何を利用しますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

※問11で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、中心市街地での移動の時に使う交通手段を選んでください。



■ 図4-4 来街頻度別にみた主な交通手段(上位5項目)



◆属性別特徴

【性別】女性は男性に比べ「バス」がやや高い。

【性別・年齢別】

- ・70歳以上の女性では「自家用車」の利用は4割弱と低く、「バス」が5割弱で最も高くなっている。
- ・20歳代の女性は「バス」が28.7%、「西鉄電車・JR」が21.8%と、他の年齢層に比べて高くなっている。

【ブロック別】

- ・「自家用車」は中央南部、中央東部、中央部では5割台だが、西部Aでは9割台、西部B、東部A、南西部でも8割台半ばが回答している。
- ・「バス」は東部A、南東部、中央東部で3割台と高い。
- ・中央部、中央南部、中央東部では「徒歩」や「自転車」が高く、西部B、北部B、南西部、北部Aでは「西鉄電車・JR」が比較的高い。

【エリア別】「自転車」の利用は中心市街地エリアの人で37.4%と高く、それ以外の地域の人は「自家用車」の他に「バス」(22.9%)、「西鉄電車・JR」(15.7%)がやや高い。

	標本数 (票)	「中心市街地」へ来る際の交通手段 (%)								
		自家用車	バス	自転車	JR 西鉄電車	徒歩	タクシー	バイク	その他	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,481)	68.6 (1,016)	21.7 (321)	15.8 (234)	13.4 (199)	13.7 (203)	7.4 (110)	1.4 (21)	0.5 (7)	4.3 (64)
性別										
男性	658	70.8	18.1	17.9	13.2	14.7	10.0	2.0	0.6	3.3
女性	823	66.8	24.5	14.1	13.6	12.9	5.3	1.0	0.4	5.1
性別×年齢別										
男性:20歳代	73	74.0	19.2	19.2	19.2	12.3	13.7	4.1	-	6.8
男性:30歳代	113	66.4	17.7	15.0	14.2	14.2	12.4	1.8	0.9	4.4
男性:40歳代	121	76.0	14.0	10.7	10.7	11.6	6.6	2.5	1.7	2.5
男性:50歳代	129	69.0	12.4	18.6	13.2	20.9	11.6	1.6	-	1.6
男性:60歳代	139	73.4	23.0	21.6	11.5	15.1	8.6	0.7	-	3.6
男性:70歳以上	83	65.1	24.1	24.1	13.3	12.0	8.4	2.4	1.2	2.4
女性:20歳代	101	64.4	28.7	16.8	21.8	13.9	3.0	1.0	-	5.0
女性:30歳代	163	75.5	17.8	10.4	11.7	9.8	4.3	-	-	9.8
女性:40歳代	119	79.8	17.6	9.2	8.4	10.1	2.5	0.8	-	2.5
女性:50歳代	166	69.3	18.7	18.1	17.5	14.5	3.6	0.6	-	4.2
女性:60歳代	181	65.2	27.1	15.5	11.0	12.7	7.7	2.2	0.6	3.9
女性:70歳以上	93	36.6	46.2	14.0	12.9	18.3	11.8	1.1	2.2	4.3
ブロック別										
東部A	101	85.1	36.6	-	6.9	1.0	3.0	1.0	1.0	2.0
東部B(田主丸)	78	79.5	17.9	1.3	11.5	-	1.3	1.3	-	14.1
北部A	134	68.7	23.9	15.7	23.1	5.2	6.7	0.7	-	1.5
北部B(北野)	90	71.1	12.2	1.1	36.7	2.2	4.4	-	-	5.6
中央東部	200	59.0	32.5	24.5	4.0	20.5	9.0	1.5	1.0	4.5
南東部	153	72.5	33.3	10.5	0.7	0.7	9.8	1.3	0.7	4.6
中央部	213	52.1	22.1	31.9	6.1	41.8	7.5	-	-	4.7
中央南部	261	59.4	13.4	26.4	12.6	23.0	10.3	2.7	0.4	5.4
南西部	124	83.1	15.3	4.8	25.0	-	8.9	3.2	0.8	2.4
西部A(城島)	57	94.7	5.3	1.8	12.3	1.8	1.8	3.5	-	-
西部B(三潁)	70	85.7	10.0	2.9	37.1	1.4	7.1	-	1.4	1.4
エリア別										
中心市街地エリア	350	47.7	18.0	37.4	5.1	46.3	8.6	0.6	0.6	4.9
それ以外	1,113	74.9	22.9	9.1	15.7	3.6	6.9	1.7	0.4	4.1

注) 中心市街地エリアの校区は、西国分、荘島、日吉、篠山、京町、南薫、金丸。

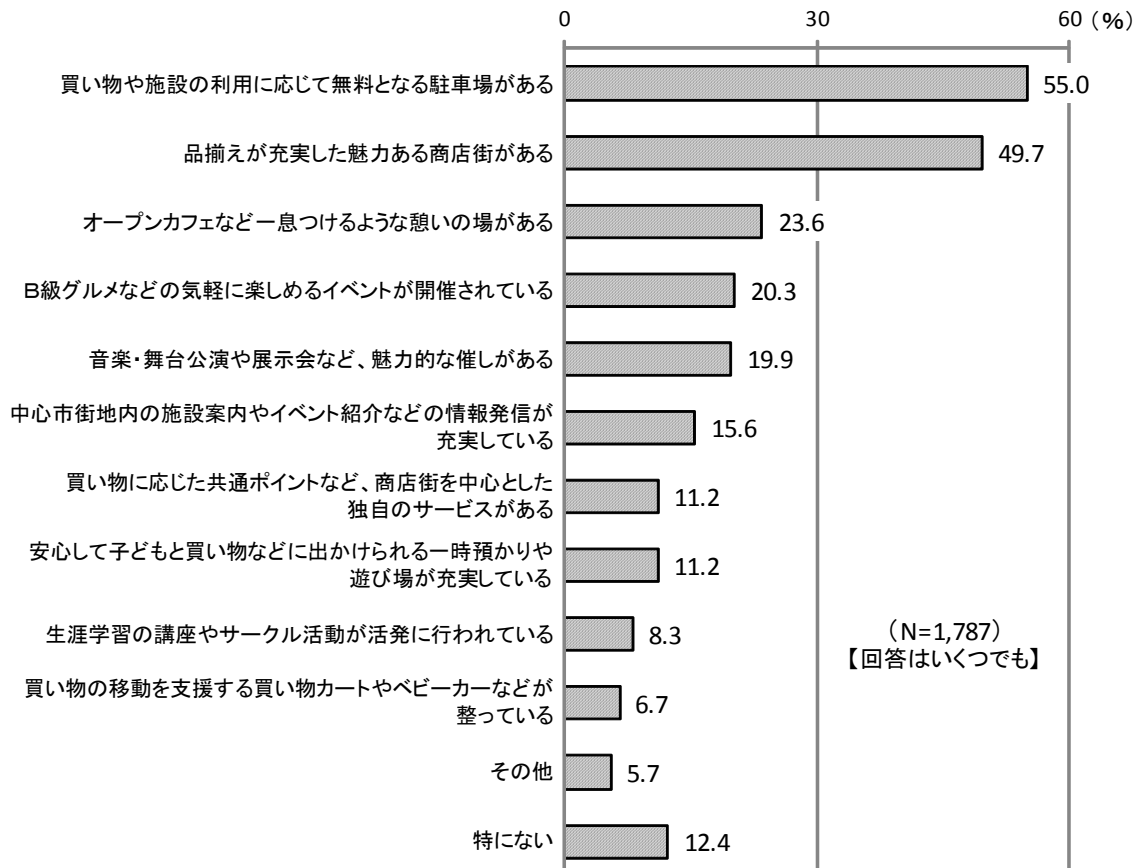
4-2 中心市街地活性化への取り組み

(1) 中心市街地へ行く機会が増えるための取り組み

「買い物や施設の利用に応じて無料となる駐車場」と「品揃えの充実した魅力ある商店街」が5割前後で高い。

「オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある」は年齢層の低い女性の要望が高い。

問 12 今後どのような取り組みがあれば、あなたが「中心市街地」へ行く機会が増える（滞在時間が増える）と思いますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）



◆属性別特徴

【性別】10項目中8項目で女性の回答率が高く、特に「品揃えが充実した魅力ある商店街がある」「一息つけるような憩いの場がある」が男性に比べ高い。一方男性は「気軽に楽しめるイベントが開催されている」が女性より高い。

【性別・年齢別】

- ・「品揃えが充実した魅力ある商店街がある」は20歳代、30歳代、40歳代の女性で6割を超えている。
- ・「一息つけるような憩いの場がある」も40歳代以下の年齢の低い層の女性で高くなっており、特に20歳代女性では4割を超えている。
- ・「音楽・舞台公演など魅力的な催しがある」は男女とも50歳代で比較的高い。
- ・「子どもの一時預かりや遊び場が充実している」「買い物カートやベビーカーなどが整っている」は男女とも20歳代、30歳代で相対的に高く、特に「子どもの一時預かりや遊び場が充実している」は30歳代女性で3割代半ばに上っている。



【ブロック別】

- ・「品揃えが充実した魅力ある商店街がある」は中央部と中央南部で約6割と高く、西部A、東部Bでは3割台と比較的低くなっている。
- ・「一息つけるような憩いの場がある」「音楽・舞台公演など魅力的な催しがある」は中央部で3割前後と高い。

【来街頻度別】

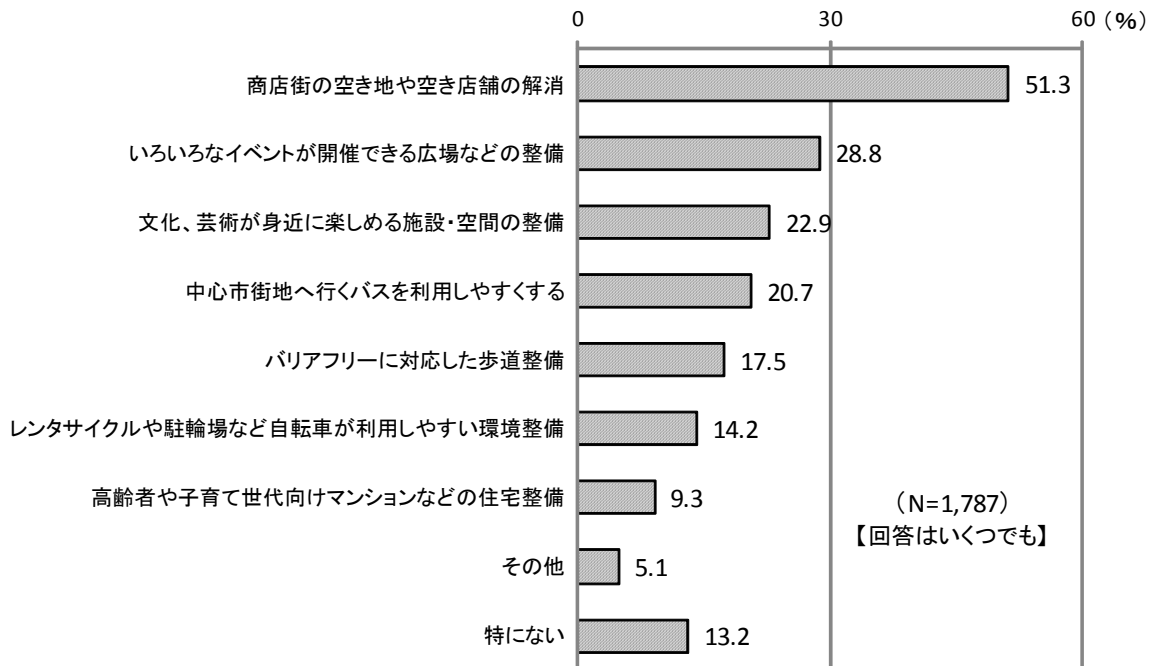
- ・来街頻度の高い人(週1回以上出かける人)は、多くの項目で回答率が高い傾向がみられるが、特に「品揃えが充実した魅力ある商店街がある」や「オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある」「B級グルメなどのイベントが開催されている」「施設案内やイベント紹介などの情報発信」などを望んでいる。
- ・「買い物等に応じて無料となる駐車場がある」は週1回程度出かける人から年数回出かける人で6割前後と比較的高くなっている。
- ・めったに行かない人では「特にない」が3割弱と高い。

	標本数(票)	「中心市街地」へ行く機会が増えるための取り組み (%)													無回答
		商店街が充実した魅力がある	独自の店舗が中心にある	買い物や飲食の場が充実している	無料の施設や駐車場の利用がある	オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある	音楽・舞台公演や展示会など、魅力的な催しがある	生涯学習の講座やワークショップなどがある	B級グルメなどのイベントがある	安心して遊べる場所がある	子どもと遊べる場所がある	買い物や移動をサポートするサービスがある	中心市街地内の施設案内やイベント紹介などの情報発信	その他	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,787)	49.7 (889)	11.2 (201)	55.0 (983)	23.6 (422)	19.9 (355)	8.3 (148)	20.3 (362)	11.2 (200)	6.7 (120)	15.6 (279)	5.7 (101)	12.4 (221)	2.7 (48)	
性別															
男性	821	45.1	9.4	53.0	18.3	17.3	6.1	24.5	8.2	4.3	16.4	5.8	14.3	2.6	
女性	966	53.7	12.8	56.7	28.2	22.0	10.1	16.7	13.8	8.8	14.9	5.5	10.8	2.8	
性別×年齢別															
男性:20歳代	87	48.3	5.7	47.1	21.8	18.4	5.7	28.7	17.2	12.6	16.1	10.3	21.8	-	
男性:30歳代	132	50.8	12.9	53.0	25.0	12.1	3.0	31.1	16.7	8.3	15.9	6.1	11.4	0.8	
男性:40歳代	150	49.3	6.0	54.7	14.7	8.7	6.0	27.3	6.0	2.7	15.3	10.7	11.3	1.3	
男性:50歳代	161	47.2	11.2	52.8	18.6	26.1	5.6	29.2	4.3	1.9	21.1	3.7	8.1	2.5	
男性:60歳代	178	44.9	12.4	58.4	20.2	20.2	6.7	18.5	6.2	1.1	20.2	1.7	13.5	5.1	
男性:70歳以上	113	27.4	5.3	46.9	8.8	16.8	9.7	12.4	2.7	3.5	6.2	5.3	25.7	4.4	
女性:20歳代	108	65.7	18.5	59.3	43.5	23.1	10.2	30.6	24.1	15.7	13.9	9.3	1.9	1.9	
女性:30歳代	181	65.7	12.7	72.4	30.9	17.1	8.3	24.3	35.4	14.4	17.1	6.6	5.5	1.1	
女性:40歳代	138	63.8	12.3	68.8	31.2	22.5	8.0	22.5	8.0	5.8	15.2	6.5	8.0	-	
女性:50歳代	203	49.3	8.9	58.1	27.1	26.6	14.3	10.8	5.4	7.4	19.2	3.0	11.8	0.5	
女性:60歳代	215	44.7	12.1	50.7	22.8	24.7	11.2	12.1	5.6	7.0	11.6	4.7	13.0	5.6	
女性:70歳以上	121	37.2	16.5	25.6	18.2	15.7	6.6	4.1	7.4	3.3	10.7	5.0	24.0	8.3	
ブロック別															
東部A	128	47.7	9.4	61.7	24.2	23.4	5.5	18.0	13.3	5.5	14.8	5.5	15.6	1.6	
東部B(田主丸)	120	38.3	6.7	50.8	15.8	15.0	4.2	19.2	10.0	4.2	11.7	3.3	22.5	9.2	
北部A	161	44.7	13.7	50.9	21.1	21.7	7.5	21.7	9.3	8.1	14.9	6.2	13.0	0.6	
北部B(北野)	118	41.5	6.8	50.0	15.3	12.7	9.3	9.3	7.6	7.6	7.6	4.2	21.2	3.4	
中央東部	227	47.6	9.7	55.9	22.0	16.7	9.3	18.1	11.9	8.8	15.0	4.4	14.1	0.9	
南東部	187	44.9	12.3	58.3	19.8	17.1	11.2	18.2	11.2	7.0	16.6	4.8	11.2	2.7	
中央部	220	61.8	18.2	50.5	35.0	29.5	10.9	25.9	12.3	5.5	20.5	5.5	5.0	1.8	
中央南部	297	60.3	13.8	55.2	27.3	20.9	8.4	24.6	13.1	5.7	16.8	8.1	6.7	3.7	
南西部	154	55.2	7.1	61.7	24.7	18.2	7.1	18.2	9.7	7.1	14.9	5.8	10.4	2.6	
西部A(城島)	74	36.5	6.8	58.1	20.3	12.2	2.7	20.3	12.2	6.8	18.9	5.4	16.2	2.7	
西部B(三藩)	101	41.6	8.9	52.5	21.8	22.8	8.9	21.8	8.9	7.9	15.8	6.9	15.8	2.0	
来街頻度別															
この区域に住んでいる	124	64.5	20.2	44.4	32.3	29.0	14.5	32.3	12.9	6.5	19.4	6.5	5.6	3.2	
ほぼ毎日出かける	180	61.1	16.7	54.4	37.8	27.2	12.8	28.9	11.7	7.2	16.7	5.6	7.8	2.8	
よく出かける(週1回程度)	271	60.9	15.9	58.3	36.5	31.0	10.0	22.5	16.2	9.2	22.9	5.9	4.4	1.1	
ときどき出かける(月1回程度)	405	51.4	12.1	60.2	26.7	15.6	7.2	21.7	12.3	8.1	19.3	4.7	8.9	2.2	
たまに出かけることがある(年数回程度)	501	47.1	7.8	57.1	15.2	16.2	6.8	17.4	9.8	5.2	12.0	6.0	13.4	1.6	
めったに行かない(行ったことがない)	291	30.2	4.1	47.4	10.3	13.7	5.5	11.7	6.5	5.2	7.9	6.2	28.5	4.5	
無回答	15	13.3	20.0	26.7	6.7	13.3	6.7	-	6.7	-	13.3	-	13.3	40.0	

(2) 行政と民間が一体となった環境整備

「商店街の空き地や空き店舗の解消」が5割を超えて高い。次いで「いろいろなイベントが開催できる広場などの整備」が28.8%、「文化、芸術が身近に楽しめる施設・空間の整備」が22.9%が続いている。

問 13 「中心市街地」活性化のために、行政と民間が一体となって環境整備に取り組むことが必要ですが、特に力を入れてもらいたいと思うことは何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)





◆属性別特徴

【性別】性別でそれほど大きな差はないが、「バリアフリーに対応した歩道整備」は女性でやや高い。

【性別・年齢別】

- ・「文化、芸術が身近に楽しめる施設・空間の整備」は50歳代女性でやや高い。
- ・「商店街の空き地や空き店舗の解消」は20歳代女性で7割と高くなっている。

【エリア別】中心市街地エリアでは「文化、芸術が身近に楽しめる施設・空間の整備」「バリアフリーに対応した歩道整備」「レンタサイクルや駐輪場など自転車が利用しやすい環境整備」などがそれ以外の地域に比べて高くなっている。それ以外の地域では「特になし」がやや高い。

【来街頻度別】

- ・「バリアフリーに対応した歩道整備」は、この区域に住んでいる人が約3割と、他の頻度の人に比べて高くなっている。
- ・ほとんどの項目で、この区域に住んでいる人の回答率が高い傾向がみられるが、「中心市街地へ行くバスを利用しやすくする」はめったに行かない人を除いた層でほぼ同率となっており、一定の割合で要望があがっている。

		標本数 (票)	「中心市街地」活性化のために力を入れてもらいたい取り組み (%)									
			催いで ろき いろ る広 場な イベ ン ト が 備開	め文 化、 施 設 ・ 芸 術 が 身 近 に 整 備 し	歩道 整 備 フ リ ー に 対 応 し た	いな ン タ 自 転 車 が 利 用 し 易 い	レ ン タ サ イ ク ル や 駐 輪 場	舗商 の店 解 消 の 空 き 地 や 空 き 店	備マ ン シ ョ ン 子 育 て の 世 代 向 け 整 け	利中 用心 し市 街地 へ 行く バス を	そ の 他	特 に な し
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,787)	28.8 (515)	22.9 (409)	17.5 (312)	14.2 (253)	51.3 (917)	9.3 (167)	20.7 (370)	5.1 (91)	13.2 (235)	2.8 (50)
性別	男性	821	30.5	21.8	14.0	14.4	49.0	8.9	19.6	5.5	15.7	1.7
	女性	966	27.4	23.8	20.4	14.0	53.3	9.7	21.6	4.8	11.0	3.7
性別× 年齢別	男性:20歳代	87	35.6	19.5	12.6	12.6	47.1	11.5	18.4	4.6	23.0	-
	男性:30歳代	132	28.8	17.4	11.4	17.4	56.8	9.1	25.0	7.6	10.6	-
	男性:40歳代	150	32.7	14.7	14.0	11.3	53.3	9.3	16.0	6.0	16.0	1.3
	男性:50歳代	161	31.1	26.7	13.0	13.7	51.6	7.5	18.6	5.0	13.7	1.9
	男性:60歳代	178	24.7	23.6	13.5	16.9	48.3	8.4	16.3	2.2	16.3	3.9
	男性:70歳以上	113	33.6	28.3	20.4	13.3	32.7	8.8	25.7	8.8	17.7	1.8
	女性:20歳代	108	33.3	23.1	21.3	13.9	71.3	10.2	24.1	5.6	7.4	2.8
	女性:30歳代	181	31.5	16.6	19.9	17.7	59.7	11.0	22.7	6.6	7.7	1.1
	女性:40歳代	138	34.1	25.4	19.6	13.8	63.8	8.7	15.2	5.8	10.1	4.3
	女性:50歳代	203	31.0	33.0	20.7	15.3	54.7	9.4	24.1	3.9	9.4	1.0
女性:60歳代	215	19.5	23.3	21.4	12.1	41.9	11.2	20.0	2.8	13.0	5.6	
女性:70歳以上	121	16.5	19.0	19.0	9.9	33.9	6.6	24.0	5.0	19.0	9.1	
エ リ ア	中心市街地エリア	366	30.9	30.1	23.0	20.2	58.5	11.2	21.0	5.2	9.0	1.1
	それ以外	1,393	28.3	21.1	16.2	12.6	49.3	9.0	20.7	5.0	14.3	3.1
来 街 頻 度 別	この区域に住んでいる	124	37.9	35.5	29.0	20.2	62.9	14.5	20.2	4.8	5.6	-
	ほぼ毎日出かける	180	32.8	28.9	21.7	22.2	60.0	12.8	21.1	3.3	7.8	2.2
	よく出かける(週1回程度)	271	33.9	34.3	21.0	15.1	60.9	12.9	21.8	6.3	5.9	0.4
	ときどき出かける (月1回程度)	405	30.4	21.2	17.8	13.1	55.6	8.9	23.7	5.2	11.1	2.2
	たまに出かけることがある (年数回程度)	501	27.9	17.8	14.2	13.2	47.5	8.6	20.4	4.6	12.6	2.4
	めったに行かない (行ったことがない)	291	17.2	15.1	11.7	8.9	34.0	4.1	16.2	6.2	30.6	5.8
無回答	15	26.7	6.7	20.0	13.3	26.7	-	20.0	-	6.7	46.7	

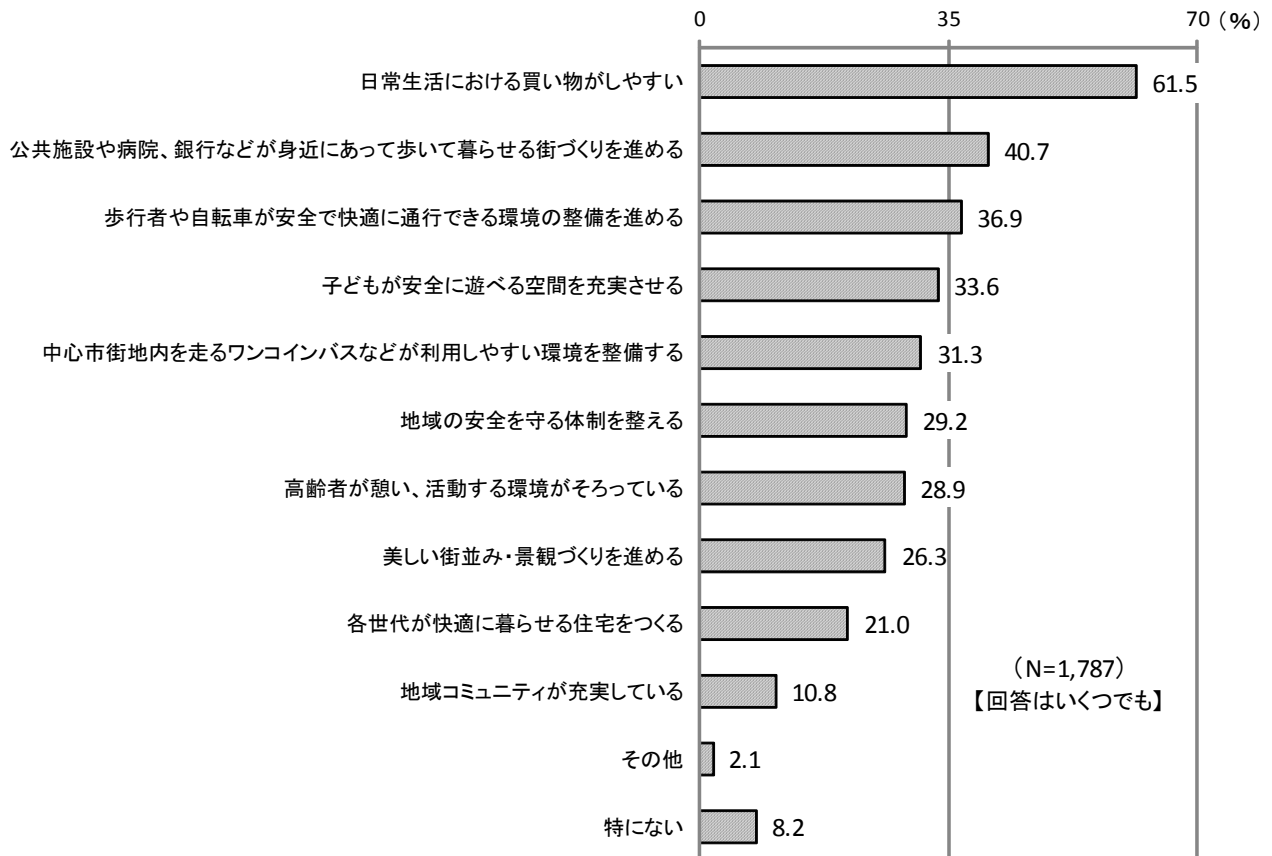
注) 中心市街地エリアの校区は、西国分、荘島、日吉、篠山、京町、南薫、金丸。

4-3 中心市街地への定住促進

「日常生活における買い物がしやすい」が6割で第1位。
 20歳代、30歳では「子どもが安全に遊べる空間を充実させる」への要望が高い。

問 14 久留米市では、定住及びコンパクトな街づくりを促進する観点から、さまざまな都市機能が充実して利便性が高い街なかへの居住を推進しています。

あなたは、「中心市街地」が多くの人に「住みたくなる街」だと感じてもらうようになるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)





◆属性別特徴

【性別・年齢別】

- ・「子どもが安全に遊べる空間を充実させる」は男女とも20歳代、30歳代で高く、特に30歳代女性では6割弱と高い。
- ・「高齢者が憩い、活動する環境がそろっている」は男女とも60歳以上でやや高い。
- ・20歳代女性では「歩行者や自転車が安全で快適に通行できる環境の整備」が47.2%と高い。また、「中心市街地内を走るワンコインバス」や「美しい街並み・景観づくりを進める」「地域の安全を守る体制を整える」は約4割と、他の年齢層に比べて高い。

【エリア別】中心市街地エリアでは、「日常生活における買い物がしやすい」「歩行者や自転車が安全で快適に通行できる環境の整備」「公共施設や病院、銀行などが身近にあって歩いて暮らせる街づくり」「子どもが安全に遊べる空間を充実させる」などが高くなっている。

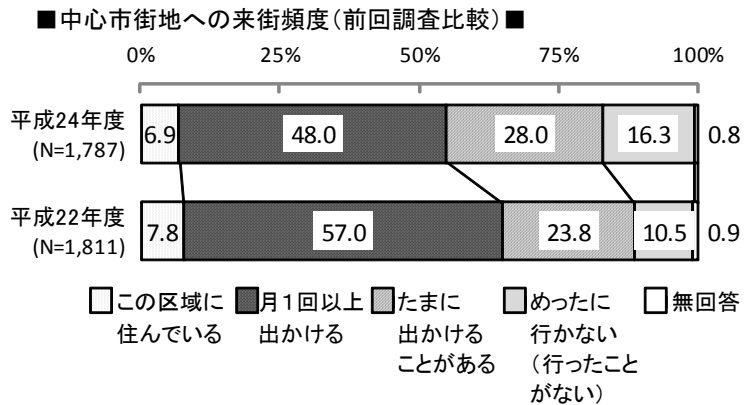
		「中心市街地」を「住みたくなる街」と感じてもらうための取り組み (%)													
		標本数(票)	日常生活における買い物が	歩行者や自転車が安全で快適	住宅が快適に暮らせる住	中心市街地内を走るワン	子どもが安全に遊べる空間	高齢者が憩い、活動する環	美しい街並み・景観づくり	地域の安全を守る体制を整	地域コミュニティが充実し	公共施設や病院、銀行など	その他	特にな	無回答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,787)	61.5 (1,099)	36.9 (659)	21.0 (375)	31.3 (559)	33.6 (601)	28.9 (517)	26.3 (470)	29.2 (521)	10.8 (193)	40.7 (727)	2.1 (37)	8.2 (146)	1.7 (31)
性別×年齢別	男性:20歳代	87	55.2	28.7	19.5	32.2	47.1	20.7	23.0	27.6	11.5	27.6	2.3	13.8	-
	男性:30歳代	132	64.4	32.6	31.8	34.8	48.5	22.0	27.3	28.0	18.9	39.4	2.3	8.3	-
	男性:40歳代	150	50.0	33.3	17.3	28.7	38.0	24.7	26.0	30.7	7.3	33.3	2.7	10.0	1.3
	男性:50歳代	161	57.8	34.8	21.1	29.8	29.8	28.6	28.6	39.1	11.2	36.0	0.6	6.8	1.9
	男性:60歳代	178	51.1	37.6	17.4	24.7	26.4	35.4	29.8	23.6	3.9	30.9	-	10.7	2.8
	男性:70歳以上	113	57.5	34.5	12.4	23.9	17.7	36.3	16.8	17.7	11.5	40.7	4.4	10.6	3.5
	女性:20歳代	108	73.1	47.2	25.9	41.7	45.4	29.6	41.7	39.8	13.9	46.3	0.9	4.6	0.9
	女性:30歳代	181	64.1	39.2	26.0	32.6	58.6	23.2	27.1	39.2	13.8	42.5	2.8	3.9	1.1
	女性:40歳代	138	70.3	35.5	24.6	34.1	36.2	24.6	29.7	32.6	10.9	45.7	5.1	4.3	1.4
	女性:50歳代	203	70.9	39.4	19.7	31.0	27.1	29.6	28.6	30.5	11.3	48.8	1.0	7.4	1.0
女性:60歳代	215	64.2	39.5	20.5	37.7	20.9	34.4	23.3	23.3	10.7	48.8	1.9	6.0	2.8	
女性:70歳以上	121	56.2	35.5	14.9	23.1	15.7	33.9	11.6	14.9	6.6	39.7	2.5	16.5	3.3	
ブロック別	東部A	128	55.5	28.1	14.8	37.5	35.2	27.3	20.3	26.6	13.3	38.3	1.6	13.3	2.3
	東部B(田主丸)	120	50.0	25.8	17.5	28.3	29.2	20.0	24.2	28.3	5.8	35.8	0.8	15.0	4.2
	北部A	161	59.6	31.7	19.9	28.0	31.1	26.1	28.6	28.6	6.8	35.4	3.1	8.1	0.6
	北部B(北野)	118	55.9	27.1	17.8	28.0	27.1	21.2	20.3	23.7	9.3	33.9	3.4	14.4	2.5
	中央東部	227	56.8	42.7	18.1	30.0	33.0	32.6	26.4	26.0	12.3	41.4	1.8	10.1	1.3
	南東部	187	63.1	38.0	18.2	28.9	30.5	29.4	25.7	33.7	13.9	46.5	2.1	4.8	1.6
	中央部	220	67.3	47.3	27.3	39.5	40.0	35.0	37.3	32.3	12.7	43.6	0.9	3.2	0.5
	中央南部	297	68.0	42.8	24.2	31.6	37.0	31.0	26.6	31.3	10.1	45.5	2.4	5.7	2.0
	南西部	154	64.9	33.8	20.8	27.9	33.8	24.7	20.1	28.6	8.4	34.4	3.2	10.4	1.9
	西部A(城島)	74	64.9	29.7	27.0	32.4	32.4	36.5	18.9	25.7	12.2	48.6	-	6.8	1.4
西部B(三瀬)	101	60.4	35.6	22.8	28.7	32.7	27.7	30.7	29.7	12.9	36.6	3.0	4.0	2.0	
エリア別	中心市街地エリア	366	67.5	48.1	22.7	33.9	38.3	33.6	29.0	31.4	11.5	44.5	1.1	4.4	1.1
	それ以外	1,393	59.7	34.1	20.5	30.9	32.7	27.6	25.4	28.5	10.6	39.6	2.3	9.3	1.8

注)中心市街地エリアの校区は、西国分、荘島、日吉、篠山、京町、南薫、金丸。

考察 — 中心市街地活性化 —

●中心市街地へ『月1回以上』出かける人は48.0%、年齢が低い層ほど頻度が高い

久留米市の中心市街地への来訪の状況をみると、『月1回以上』出かける人は48.0%で、平成22年度調査(以下「前回調査」とする)より9ポイント低下している。年齢別でみると、前回調査と同様、年齢が低い層ほど出かける頻度が高い傾向がみられ、20歳代では月1回以上出かける人が3分の2に上るが、50歳以上では「年数回程度」または「めったに行かない」が約5割に上っている。



ブロック別の来街頻度をみると、中心市街地周辺の中央部、中央東部、中央南部の来街頻度が特に高いが、中心市街地に比較的近く、かつJRまたは西鉄沿線にあたる北部A、南西部などの来街頻度も比較的高い。ブロック別の来街頻度を前回調査と比較すると、中心市街地周辺の中央東部、中央部、中央南部ではそれほど大きな変化はないが、それ以外の地域で『月1回以上』の割合が10ポイント以上低下しており、特に東部B(田主丸)、西部B(三潴)で下げ幅が大きくなっている。中心市街地を訪れる層と、そうでない層とがより明確に分かれてきているとみられる。

■ブロック別にみた『月1回以上』出かける人の割合(前回調査比較)■

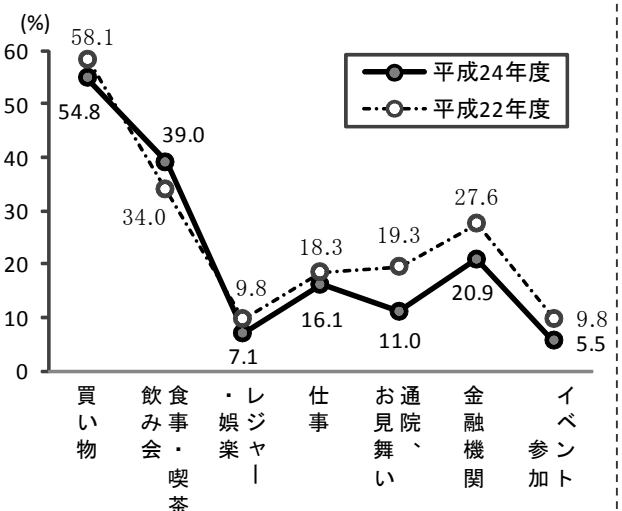
	『月1回以上』出かける人	
	今回	前回
全体 (カッコ内は標本数)	48.0 (856)	57.0 (1,032)
東部A	44.5	55.1
東部B(田主丸)	24.9	42.8
北部A	50.3	67.1
北部B(北野)	35.6	46.6
中央東部	58.6	65.7
南東部	45.4	59.4
中央部	48.2	40.7
中央南部	60.5	66.1
南西部	53.8	64.7
西部A(城島)	31.1	44.2
西部B(三潴)	35.7	60.2

年齢や居住地域による傾向の差が大きいため、中心市街地の活性化を考えるうえでは、どのような層をターゲットにするのかを明確にし、その層に向けてのアプローチが重要になるだろう。

●「食事・喫茶、飲み会」は若い層で、「買い物」は年齢の高い層で増加している

中心市街地を訪れる目的をみると、「食事・喫茶、飲み会」は前回調査より5ポイント増加しているものの、「買い物」「金融機関」「通院、お見舞い」「イベント参加」などは3ポイントから8ポイント程度減少している。性別・年齢別の結果を前回調査と比較すると、「金融機関」は特に若い世代での利用率が低下しており、商業施設やコンビニエンスストアに設置されたATMや

■来街目的(前回調査比較)■



複数金融機関の間でのATM提携サービス、インターネットバンキングなど、現金の預け払いや振込等の手続きを行える場所の選択肢が広がっていることの影響があるのではないかと推測される。また「買い物」は20歳代男性、20～40歳代女性、70歳以上の男女で減少しているが、60歳代では男女とも増加している。若い世代の人にとって、「買い物」をする場としての中心市街地の魅力が低下しているということかもしれない。

中心市街地への交通手段は自家用車が最も多いが、中心市街地に居住している人、および来街頻度の高い人では徒歩や自転車での来訪も比較的多くみられる。一方、来街頻度の低い層ほど自家用車の利用が高くなっている。また、20歳代および60歳以上の女性ではバスの利用が多く、特に70歳以上の女性では5割弱に上っている。

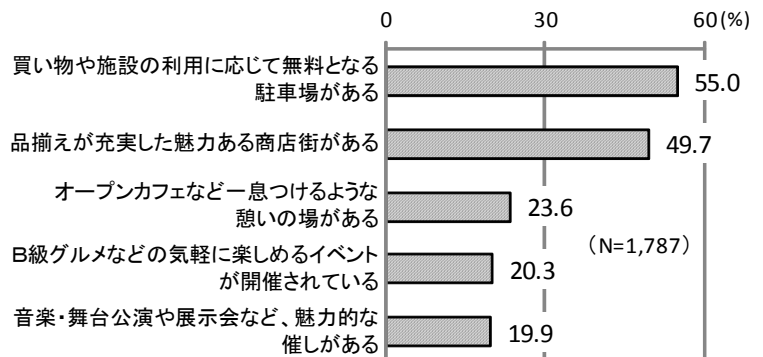
■来街目的で「買い物」を選択した人の性別・年齢別の割合(前回調査比較)■

		買い物	
		今回	前回
全体 (カッコ内は標本数)		54.8 (811)	58.1 (932)
性別 × 年齢別	男性:20歳代	38.4	51.1
	男性:30歳代	38.1	40.2
	男性:40歳代	38.8	40.7
	男性:50歳代	45.7	48.4
	男性:60歳代	54.7	50.6
	男性:70歳以上	44.6	58.6
	女性:20歳代	55.4	65.5
女性:30歳代	50.9	57.7	
女性:40歳代	56.3	66.9	
女性:50歳代	65.7	67.3	
女性:60歳代	76.8	68.1	
女性:70歳以上	72.0	78.3	

●中心市街地がショッピングだけではなく文化や芸術、イベントなどを楽しめる多様な機能を持った場となり、新たな魅力を創出していくことが期待されている

中心市街地へ行く機会が増えるための取り組みとしては、「買い物や施設の利用に応じて無料となる駐車場がある」が最も高い。しかし、週1回以上来街する層では「品揃えが充実した魅力ある商店街がある」が6割を超えて高くなっている。これは、20歳代から40歳代の女性でも6割を超えている。上で述べたように、特に若い世代にとって中心市街地が買物をした場所ではなくなっている可能性があり、利便性だけではなく、ショッピングの場として楽しめるまちづくりが必要とされているといえる。来街頻度の高い層では、「オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある」「B級グルメなどの気軽に楽しめるイベントが開催されている」「音楽・舞台公演や展示会など、魅力的な催しがある」なども2割から3割台で高くなっており、中心市街地が様々な楽しみ方、過ごし方ができる場になることが期待されていることがうかがえる。

■中心市街地へ行く機会が増えるための取り組み(上位5項目)■



年齢別では、「オープンカフェなど一息つけるような憩いの場がある」は20歳代から40歳代の女性で、「B級グルメなどの気軽に楽しめるイベントが開催されている」は20歳代から40歳代の男女と50歳代男性で高く、「音楽・舞台公演や展示会など、魅力的な催しがある」は50歳代の男女で比較的高い。

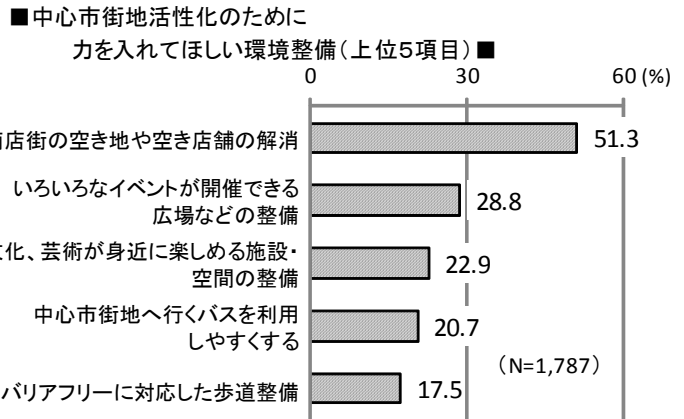
また、20歳代、30歳代では「安心して子どもと買い物などに出かけられる一時預かりや遊び場が充実している」が高く、特に30歳代女性では3分の1以上が回答している。30歳代女性では無料駐車場への希望も他の世代に比べて高く、子育て世代の女性からは子ども連れで買い

物等がしやすい環境づくりが特に望まれていると考えられる。

中心市街地活性化のために特に力を入れてもらいたいことでは、「商店街の空き地や空き店舗の解消」が最も高く、特に20歳代女性で高い。20歳代女性の中心市街地来訪の目的のうち、「買い物」が前回調査より約10ポイント低下していることなどから、施設や道路等の整備だけではなく、いわゆる「シャッター通り」化への対策を進め、中心市街地の空洞化を食い止めることが望まれている。空き店舗対策に続いて要望が高いのが「いろいろなイベントが開催できる広場などの整備」「文化、芸術が身近に楽しめる施設・空間の整備」などであり、特に来街頻度の高い層からの要望が高い。

中心市街地がショッピングだけではなく文化や芸術、イベントなどを楽しめる多様な機能を持った場となり、新たな魅力を創出していくことが期待されているといえよう。

また、多くの項目で来街頻度が高い層での回答率が高かった中で、「中心市街地へ行くバスを利用しやすくする」は来街頻度に関わらず要望がみられた。来街頻度の低い層ほど来街時の自家用車利用が高い傾向がみられたが、公共交通機関での中心市街地へのアクセスの利便性を高めることで、現在はあまり中心市街地に訪れていない層も含めた来街頻度の向上につながることも期待できるのではないだろうか。



● 中心市街地への定住に関しては、日常生活の利便性が特に重視されている

中心市街地への定住を促進するために望まれる取り組みを尋ねた設問では、「日常生活における買い物がしやすい」61.5%、「公共施設や病院、銀行などが身近にあって歩いて暮らせる街づくりを進める」40.7%が上位2項目となっている。これは、久留米市への定住意向（第3章）を尋ねた際に、久留米市に住み続けたい理由として買い物等日常生活に便利なのが、一方、別の場所に移りたい理由として交通の便が悪いことや買い物等に不便なのが上位にあがっていたこととも重なり、定住に関しては日常生活の利便性の高さが特に重視されているようだ。

性別・年齢別にみると、「子どもが安全に遊べる空間を充実させる」が男女とも20歳代、30歳代で高く、30歳代女性では6割近くと特に高くなっている。また、20歳代、30歳代の女性では「地域の安全を守る体制を整える」も約4割と比較的高く、さらに20歳代の女性では「歩行者や自転車が安全で快適に通行できる環境の整備を進める」の47.2%が目立っている。若い世代の女性では、定住を考えるにあたって「安全」が重要な要素となっていることがうかがえる。